



環境・リサイクル分野

石炭灰リサイクル製品（再生砕石）製造技術の開発

石炭火力発電所から発生する副産物「石炭灰（フライアッシュ）」を原料としたリサイクル製品において必要とされる、品質や環境安全性等の確保に向けた製造技術の開発を行う

現状背景

- 石炭火力発電所で石炭を燃やして電力を起す際に発生する副産物「石炭灰（フライアッシュ）」の総量は年間170万トンにのぼり、リサイクル活用が望まれている
- また、福島県の石炭灰発生量は都道府県別で見ると最も多く全国の約17%を占め、産業廃棄物の地産地消が望まれている
- 石炭灰のリサイクルを実現するためには、製品となる石炭灰リサイクル資材からの有害重金属の溶出抑制技術の確立が課題である

開発目標

- 重金属等の溶出抑制技術を確立し、環境安全性を確保した石炭灰リサイクル製品を製造する
- 使用する石炭灰の種類による製品品質の予測方法、石炭灰の特性に応じた最適な製造条件を確立することで、事業化に必要な製造方法（安定供給やコスト低減）を実現する

先進性

- コーティング技術をはじめとする重金属等溶出抑制技術の開発
- 品質に関わる膨大な情報をデータベース化し、システムにて最適な製造条件を確立

事業化目標

- 浜通り地域の石炭火力において発生している石炭灰を有効活用することによって、産業副産物の地産地消を行い、復興資材の安定供給に寄与し、復興に貢献する
- 県内の土木工事等において納入実績があり、今後更なる用途拡大を目指す

事業者概要

《事業者名》福島エコクリート株式会社 《事業内容》福島県における石炭灰リサイクルの推進役として新たな雇用の創出、復興資材の普及を目指し、石炭灰混合材料の事業化を図り路盤材や成形ブロックの製造・販売を行う
 《創業》2016年3月 《住所》福島県南相馬市小高区女場字猿田1-23
 《HP》<http://www.fukushima-ec.com/> 《問合せ先》0244-26-4198



ORクリート砕石（路盤材代替品）



プラント全景